

奈良県の基本理念

育人 ～県民一人一人が学び、育ち合い、潜在力を最大限に引き出す～

上牧町の指導方針

日本国憲法、教育基本法及び学校教育法を踏まえ人間尊重の精神を養い、心身ともにたくましく豊かな人間性で、正々堂々と生きる子どもの育成をめざす。

学校教育目標

人権尊重の精神を基盤として、体・徳・知の調和のとれた児童を育成する。
めざす児童像

まわりの人を大切にする子

きまりやマナーを守る子

のびのび元気に運動する子

みずから考え進んで学習する子

児童の実態

- あいさつをする子としない子の二極化。
- 縦のつながりが強い。
- 自主ガッツの取組により、主体的学習の力が伸びてきた。
- 「支え合うなかま」が定着してきているが、いじめの芽もある。

保護者の願い

- 学力をしっかりつけてほしい。
- 友だちと仲良く過ごしてほしい。
- 縦割り活動を充実させてほしい。

◎豊かな人間性の育成にかかわる重点

(1)人権を尊重する豊かな感性の育成

- ①支え合うなかまをつくる実践力
- ②地域の方々へのあいさつの実践

(2)なかまとともに規律ある楽しい学校生活

- ①きまりやマナーを守り、節度ある学校生活
- ②清掃活動に重点を置いたきれいな学校生活

◎たくましい心身の育成にかかわる重点

(1)運動場芝生化を生かした運動遊びの活性化

- ①「わんぱくタイム」で遊び体験を拡大
- ②運動好きを増やす体育的行事の充実

(2)体力向上のための指導の充実

- ①体力運動能力テスト実施と分析
- ②重点種目の指導法の研修

◎確かな学力の育成にかかわる重点

(1)基礎・基本の定着

- ①「朝ガッツ」で基礎・基本の徹底
- ②外国語(活動)における指導の在り方の研究

(2)家庭学習の定着

- ①「家庭学習の手引き」の啓発と実施
- ②自主学習ノートの活用

◎児童の成長を支える地域の姿

(1)学校地域パートナーシップ事業の充実

- ①環境整備等ボランティアの充実
- ②ボランティア拡大

(2)開かれた学校づくり

- ①地域や保護者への情報提供
- ②家庭・地域との連携

◎児童の成長を支える教職員の姿

・子どものために汗を流す教職員

・子どものために自分を磨く教職員

・子どもの憧れや模範となる教職員

・子ども・保護者・地域から信頼される教職員